

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第2部門第5区分  
 【発行日】平成20年4月10日(2008.4.10)

【公開番号】特開2006-248389(P2006-248389A)  
 【公開日】平成18年9月21日(2006.9.21)  
 【年通号数】公開・登録公報2006-037  
 【出願番号】特願2005-68143(P2005-68143)  
 【国際特許分類】

B 6 2 D 5/04 (2006.01)

H 0 2 P 6/08 (2006.01)

【F I】

B 6 2 D 5/04

H 0 2 P 6/00 3 2 1 Q

【手続補正書】

【提出日】平成20年2月26日(2008.2.26)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

操舵部材に加えられた操舵トルクを検出し、検出した操舵トルクに基づき、モータを駆動して操舵補助する電動パワーステアリング装置において、

前記モータに供給している電圧が、所定電圧以上であるか否かを判定する手段と、該手段が所定電圧以上であると判定したときに、前記モータのマグネットにより発生する磁束を弱めるように制御する弱め界磁制御手段とを備え、該弱め界磁制御手段は、前記操舵トルクが所定値以上であるか否かを判定する手段と、該手段が所定値以上であると判定したときに、前記モータに流れる電流が上限値に達しているか否かを判定する手段とを有し、該手段が上限値に達していないと判定したときに、前記磁束を弱めるように構成してあることを特徴とする電動パワーステアリング装置。

【請求項2】

前記所定電圧は、前記モータの回転数により定められた閾値である請求項1記載の電動パワーステアリング装置。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0004

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0004】

第1発明に係る電動パワーステアリング装置は、操舵部材に加えられた操舵トルクを検出し、検出した操舵トルクに基づき、モータを駆動して操舵補助する電動パワーステアリング装置において、前記モータに供給している電圧が、所定電圧以上であるか否かを判定する手段と、該手段が所定電圧以上であると判定したときに、前記モータのマグネットにより発生する磁束を弱めるように制御する弱め界磁制御手段とを備え、該弱め界磁制御手段は、前記操舵トルクが所定値以上であるか否かを判定する手段と、該手段が所定値以上であると判定したときに、前記モータに流れる電流が上限値に達しているか否かを判定する手段とを有し、該手段が上限値に達していないと判定したときに、前記磁束を弱めるよ

うに構成してあることを特徴とする。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

第1発明に係る電動パワーステアリング装置によれば、判定する手段が、モータに供給している電圧が所定電圧以上であると判定し、弱め界磁制御手段が、操舵トルクが所定値以上であると判定したときに、モータに流れる電流が上限値に達しているか否かを判定し、上限値に達していないと判定したときに、モータのマグネットにより発生する磁束を弱めるので、運転者がハンドル操作に感じることがある「引っ掛かり感」を緩和することが出来る電動パワーステアリング装置を実現することが出来る。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】削除

【補正の内容】